

関係機関との連絡会議員

	機関名及び役職名	会議員名
構成機関	国立大学法人 岐阜大学大学院医学系研究科長・医学部長	満島 満 (議長)
	国立大学法人 岐阜大学医学部附属病院長	岩間 亨
	地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター病院長	渡辺 佐知郎
	岐阜市民病院長	富田 栄一
	社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院長	山北 宜由
	社会医療法人厚生会 木沢記念病院長	北島 康雄
	大垣市民病院長	曾根 孝仁
	岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院長	林 勝知
	地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院長	原田 明生
	高山赤十字病院長	棚橋 忍
外部機関	岐阜県医師会 常務理事 (二宮医院 院長)	二宮 保典
	社団法人岐阜県病院協会 常務理事 (西美濃病院長)	齋藤 公志郎
	岐阜県市長会 (飛騨市長)	井上 久則
	岐阜県町村会 副会長 (池田町長)	岡崎 和夫
	岐阜県 (健康福祉部次長)	日置 敦巳

顧問

機関名及び役職名	氏名
国立大学法人 名古屋大学医学部附属病院長	松尾 清一
名古屋市立大学医学部附属病院長	山田 和雄
社団法人 岐阜県病院協会会長 (松波総合病院 名誉院長)	松波 英一

岐阜県医師育成・確保コンソーシアム

ホームページ オープン 2012/4/1

http://www1.gifu-u.ac.jp/~dr_conso/index.html

The Gifu doctor training retention Consortium

岐阜県医師育成・確保 コンソーシアム

・トップページ ・サイトマップ ・お問い合わせ

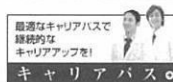
文字サイズ 小 中 大

NEWS コンソーシアム紹介 活動内容 報告事項 キャリアパス FAQ



TOPICS

2012年4月1日 ■ ホームページがオープンしました。



ページの先頭へ戻る

トップページ | NEWS | コンソーシアム紹介 | 活動内容 | 報告事項 | キャリアパス | FAQ

Copyright © 岐阜県医師育成・確保コンソーシアム. All Rights Reserved.



コンソーシアム紹介

Introduction of a Consortium

- 概要 0
- 会長あいさつ 0
- 事務局あいさつ 0
- 岐阜県健康福祉部次長あいさつ 0
- 構成病院長の紹介 0
- 名簿 0
- 概要図 0
- コンソーシアム組織図 0

コンソーシアム紹介

Consortium introduction

最適なキャリアパスで
継続的な
キャリアアップを!

キャリアパス

岐阜県医師育成・確保コンソーシアムの概要

岐阜県は現在極めて低い医師不足の状況であり、それによって悪化される医療体制の地域格差を改善するため、2010年9月その後4年間で実行する地域医療再生計画の一環として「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」を立ち上げました。

本コンソーシアムは、当県、岐阜大学医学部のほか県内の研修医が多く集まる9病院（岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、松浜総合病院、木沢記念病院、大垣市市民病院、中濃厚生病院、県立多治見病院及び高山赤十字病院）を中心に、それら病院と県内の各病院、医師会との連携体制で構成されています。



2008年度、岐阜県内唯一の医師養成機関である岐阜大学医学部では、岐阜県内の高校の卒業見込者・卒業生及び岐阜県在住の他県高校卒業見込者・卒業生を対象として、新たに地域枠推薦入試制度を導入し、これまでの入学定員80名に加え10名の定員増を行いました。その後、2009年度に15名、さらに2010年度には27名（地域枠希望の前期日程2名増を含む）の定員増が決定され現在107名となっております。

この入試制度の導入は、地域での医師不足、診療科の偏在等による医療現場の危機が大きな社会問題となり、国の新医師確保総合対策及び岐阜県医師確保対策の一環として、一定期間、地域で勤務することを条件に医師養成の増員が認められたもので、併せて各県自治体が「医学生修学資金」を用意しこれを受け入れることを入学要件としたものです。

本コンソーシアムは、岐阜県医学生修学資金受給者（第1種・地域枠、および第2種）を主な対象者として、その返還免除条件である県内臨床研修指定病院（22病院）での初期臨床研修および、所定の期間、研修が指定した県内医療機関で勤務する（指定勤務）上で十分な指導体制を確保し、医師が円滑且つ効果的にキャリアアップが図れるようサポートするために組織されたものです。

初期臨床研修医には魅力的な研修プログラムの提供、後期研修医等には自身の将来の希望に応じたキャリアパスの提供、支援を行いながら若手医師の県内定着と育成を図るとともに、後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることによる効果的な地域医療確保の役割を担っています。

そして、何よりも修学資金を受け入れた若い医師が安心して自分自身の成長を果てることができるような医療現場と教育環境、指導体制を整えるべく、研修医を受け入れる県内医療機関との連携・調整を進めています。

また、岐阜県医学生修学資金受給者以外でも熱意を持って岐阜県の地域医療に貢献したいと希望される医師の方はどうぞ事務局（岐阜大学医学部地域医療医学センター（CRM）内）まで、お気軽にお問い合わせください。ご連絡をお待ちしております。



コンソーシアム紹介

Introduction of a Consortium

- 概要 0
- 会長あいさつ 0
- 事務局あいさつ 0
- 岐阜県健康福祉部次長あいさつ 0
- 構成病院長の紹介 0
- 名簿 0
- 概要図 0
- コンソーシアム組織図 0

コンソーシアム紹介

Consortium introduction

最適なキャリアパスで
継続的な
キャリアアップを!

キャリアパス

事務局あいさつ

岐阜県医師育成・確保コンソーシアムは、岐阜県医学生修学資金（第1種）を受け給している岐阜大学医学部医学科地域枠学生、および同修学資金（第2種）を受け給している医学生（岐阜大学および他大学学生を含む）が、修学資金返還免除条件にある、岐阜県内研修指定病院での2年間の初期臨床研修とそれに続く指定勤務（第1種では9年間、第2種では修学資金受給年度で最長2年間）の間、安心して自分自身のキャリアアップができ、また同時に医師不足地域での勤務を通じて地域医療の課題である患者中心の医療を体験することにより、それぞれの専門領域の中で幅広い臨床能力を身に付け、結果的に医師不足地域の医療の確保につながるために結成されたものです。

これを実現するために最も重要なことは、岐阜県内のすべての医療機関が教育・指導体制を整え、指導医のみならず全メディカルスタッフが一致団結して研修医を育成するマインドをひとつにすることと考えています。それが実現すれば研修医が育つのみならず、指導する側のレベルアップややりがいにつながり、医療現場全体の活性化、さらには住民にとっても地域医療の確保につながることを期待されます。

コンソーシアムには構成病院（現在9病院：岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、岐阜県立多治見病院、岐阜市民病院、大垣市市民病院、高山赤十字病院、中濃厚生病院、松浜総合病院、木沢記念病院）と事務局である岐阜大学医学部地域医療医学センターが結成されていますが、これらの病院に研修医を供給させるのではなく、構成病院と事務局が連携協力し、研修プログラムの立案、専門領域のキャリアパスの策定、県内医療機関の指導体制維持のための指導医を求めた県内医療機関などを掘っていく、すなわちコンソーシアムを運営する幹事施設としての役割を担うために結成された組織となっています。したがって、研修医が実際に勤務するのはコンソーシアム協力病院を意味し、岐阜県内すべての医療機関であることを認識いただきたいと思います。

なお、指定勤務期間のうち、第1種においては6年間、第2種においては受給年度の半分の期間は「知事の指定する医療機関」での勤務が義務付けられていますが、実際の勤務においては知事あるいは岐阜県から個別に指定された病院に赴任するのではなく、個々の研修医が希望する専門領域での育成キャリアパスにおいて「知事の指定する医療機関」の中から、教育指導体制が整った医療機関を選び、また医師不足地域での医師確保を考慮しながら適切に勤務プランを立てていくという形になります。

なおこれらの医療機関は主に国公立病院、赤十字病院、厚生連が運営する病院、自治体が運営する診療所などが指定されています。

すでに第2種修学資金受給者のうち3名が指定勤務1年目を終えようとしており、また19名が岐阜県内の研修指定病院で初期臨床研修を行っています。

今後ますます修学資金受給者の県内の医療機関勤務が増え、2年後には地域枠1期生が卒業し、平成20年度には第1種、第2種合わせて100名を超える研修医が岐阜県内で研修していることになり、その後さらに増加する予定です。また、修学資金受給者以外でも、コンソーシアムのシステムを利用して研修したいという研修医は広く門戸を開放することはもちろんです。繰り返しますが、研修医にとって岐阜県内では医師として働きながら成長できる環境が得られるよう、また指導する側にとっては教育によって自らのレベルアップや充実感を得るよう、さらに地域住民にとっては地域医療の確保につながるよう、岐阜県内の全医療従事者が一丸となって「教育」をキーワードに、このコンソーシアムの運営にご理解とご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



岐阜県医師育成・確保コンソーシアム
事務局次長 村上 啓雄

岐阜大学医学部地域医療医学
センター副センター長

* 市町村の合併状況は2006年1月1日現在